

＝御言葉に浸される＝

①キリストは神のロゴス(ヨハネ1:1)が幕屋を張ったお方。この方の語り出されたことば(レーマ)は霊であり、いのちを与える(ヨハネ6:63)

<レーマ=いのち=ロゴス+霊>

②御言葉は預言者たちにより部分的に語られたが、今は御子によって語られた(ヘブル1:1-2)→聖書は神の息吹き(2テモテ3:14-16)

③御言葉と信仰を混ぜる(ヘブル4:2)、信仰とは実体化(同11:1)→私たちの霊と御霊が働くとき何か起きる!

④具体的実行:

- ・朝に御言葉を読む:特に詩編119編が御言葉との関係を描く
- ・御言葉によって祈る:語り出された神の言葉は虚しく帰らない、言い送ったことを成し遂げる(イザヤ55:11)→必ず聞かれる祈り、御言葉を自分に語ると同時に神にも語る(詩篇119:49)、もちろん敵に対しても(ルカ4章)
- ・御言葉を思い巡らす(ルカ2:50-51)
- ・神のロゴスであるイエスの事をつねに思う(2テモテ2:8)